

③新たな作物や品種の特徴を活かした需要拡大

宮崎県産ホップ、麦芽を使用したオール宮崎産ビール、発泡酒の開発・販路開拓

地元産のホップと麦芽、特産のフルーツ等を使用したオール宮崎産のビール、及び発泡酒を開発、販路開拓する。

連携体

農林漁業者

スローライフトゥ株式会社(法人番号 6350001013794、農業)

ビールの苦みと香りの元となるホップを栽培し、オール宮崎産ビールの原料として供給する。

中小企業者

宮崎ひでじビール株式会社(法人番号 8350001010567、飲料・たばこ・飼料製造業)

県内から供給されたホップ、大麦を原料としてオール宮崎産ビールを製造し、国内・国外において販売する

連携参加者

農事組合法人はなどう(法人番号 9350005004754、農業)

株式会社霧立山地・ごかせ農園(法人番号 4350001007402、農業)

ホップの栽培を行い、オール宮崎産ビールの原料として供給する。

サポート機関等

(公財)宮崎県産業振興機構(法人番号 8350005001455)

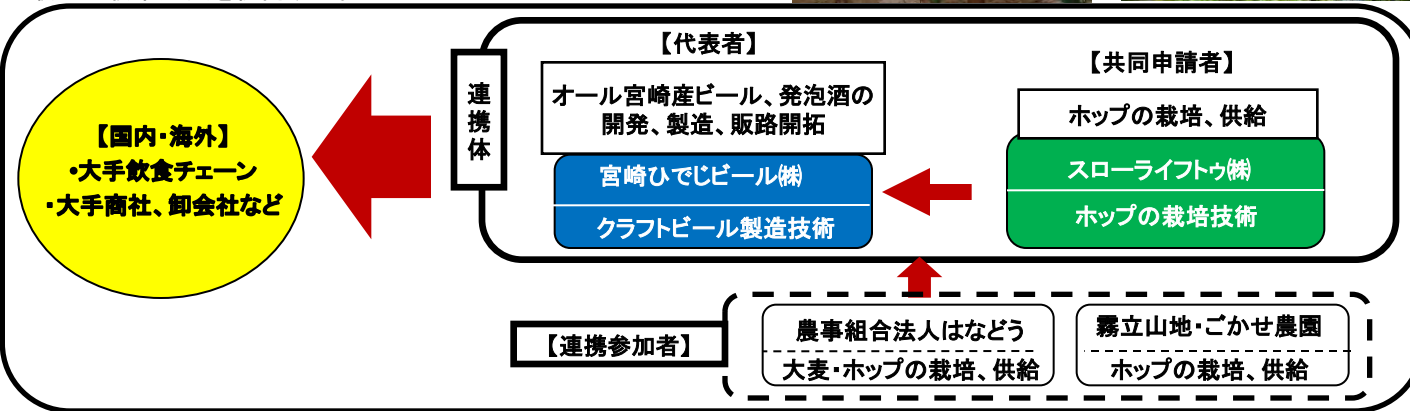
(独)中小企業基盤整備機構 九州本部(法人番号 2010405004147)

連携の経緯

「オール宮崎産ビール、発泡酒」の開発を目標とする宮崎ひでじビール(株)では、県内産ホップの調達課題となっていた。また、茶葉生産を営むスローライフトゥ(株)では経営安定化の為に、収益性の高い新たな作物を模索していた。両社の連携により、宮崎県で初めてとなるホップの栽培に取り組むこととなった。

連携に当たっての課題や工夫等

ホップの主産地は北海道、東北地域であり、九州ではまだ栽培実績が無い。その為、主産地の視察研修を行うとともに、農業改良普及センターの指導を受けながら栽培技術の向上を図る。また気象条件、土壌条件の異なる県内3地域の圃場でホップの栽培を行い、収穫されたホップの分析結果を各圃場間で情報共有する事で、施肥計画など最適な栽培方法を検討する。



連携による効果

農林漁業者

5年で200万円の売上高増加、経営の安定化

労働負担が比較的少なく、さらに収益性の高い新作物の導入により、経営の安定化につなげることが出来る。

中小企業者

5年で5,000万円の売上高増加、収益性の改善

付加価値の高い商品を未参入市場(海外、及び国内飲食チェーンなど)に投入する事で、新規売り上げを獲得できる。

代表企業等の連絡先

企業等名 : 宮崎ひでじビール株式会社

所在地 : 宮崎県延岡市行藤町747-58

T E L : 0982-39-0090

F A X : 0982-38-0080

E - m a i l : info@hideji-beer.jp

ホームページ : http://www.hideji-beer.jp